【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成24年4月12日(2012.4.12)

【公開番号】特開2011-181533(P2011-181533A)
【公開日】平成23年9月15日(2011.9.15)
【年通号数】公開・登録公報2011-037
【出願番号】特願2011-140813(P2011-140813)
【国際特許分類】
Ｆ２１Ｓ　2/00　(2006.01)
Ｆ２１Ｙ 101/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ２１Ｓ　2/00　２３１
Ｆ２１Ｙ 101:02

【手続補正書】
【提出日】平成24年2月27日(2012.2.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
蛍光灯とは異なる光源であって、長尺板状の基板に複数の発光ダイオードを実装した発光部と、前記発光部を収納した直管形状の管体と、前記管体の両端にそれぞれ設けられて既存の蛍光灯用の照明器具のソケットに装着される保持用口金と、前記照明器具の内部に収納された点灯装置から前記ソケットを介した経路とは異なる経路で前記発光部に点灯電力を給電するための給電部とを備え、
前記発光部は、前記各保持用口金を前記ソケットに装着した際に下方に光を照射するように前記管体に収納されており、
前記各保持用口金に、それぞれ前記ソケットに装着される一対の丸棒状のダミーピンを突設し、前記各保持用口金及び前記各ダミーピンは、前記基板とは互いに電気的に絶縁され、
前記給電部は、前記点灯装置と電気的に接続された接続部に装着されるコネクタから成り、前記各保持用口金を前記ソケットに装着した際に前記発光部による配光を妨げることがないように前記管体の前記照明器具側の位置に設けられていることを特徴とする光源。
【請求項２】
既存の蛍光灯用口金が装着可能なソケットと、前記ソケットを支持するとともに前記光源に点灯電力を給電する点灯装置を収納した器具本体とを備え、前記給電部を介した前記点灯装置から前記光源への給電経路を確立する接続部が設けられたことを特徴とする照明装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
本発明の光源は、蛍光灯とは異なる光源であって、長尺板状の基板に複数の発光ダイオードを実装した発光部と、前記発光部を収納した直管形状の管体と、前記管体の両端にそ

れぞれ設けられて既存の蛍光灯用の照明器具のソケットに装着される保持用口金と、前記照明器具の内部に収納された点灯装置から前記ソケットを介した経路とは異なる経路で前記発光部に点灯電力を給電するための給電部とを備え、前記発光部は、前記各保持用口金を前記ソケットに装着した際に下方に光を照射するように前記管体に収納されており、前記各保持用口金に、それぞれ前記ソケットに装着される一対の丸棒状のダミーピンを突設し、前記各保持用口金及び前記各ダミーピンは、前記基板とは互いに電気的に絶縁され、前記給電部は、前記点灯装置と電気的に接続された接続部に装着されるコネクタから成り、前記各保持用口金を前記ソケットに装着した際に前記発光部による配光を妨げることがないように前記管体の前記照明器具側の位置に設けられていることを特徴とする。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
本発明の照明装置は、既存の蛍光灯用口金が装着可能なソケットと、前記ソケットを支持するとともに前記光源に点灯電力を給電する点灯装置を収納した器具本体とを備え、前記給電部を介した前記点灯装置から前記光源への給電経路を確立する接続部が設けられたことを特徴とする。